

ほりぞえ健^{けん} ニュース

川崎市高津区下作延4-22-12

電話&FAX 044-877-6317

ホームページ <http://www.horizoe.com>

電子メール horiken@horizoe.com

アンケート結果（中間報告） たくさんのご協力、ありがとうございました！



- 1963（昭和38）年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

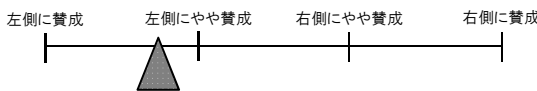
『ほりぞえ健ニュース』No.93において実施致しましたアンケートに、多くの方々からお返事をいただきました。ご協力に感謝申し上げますとともに、今までに寄せられたご意見の概要について、中間報告をさせていただきます。

なお、このアンケートは現在も実施しておりますので、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。

●アンケート項目の集計結果

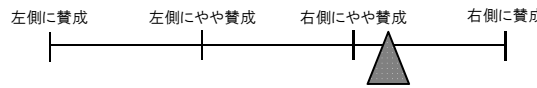
※単純に積算集計しています。一つの項目に複数の○印を記載されている場合は、それぞれ按分し加算しました。

行政区ごとの違いや特色にもっと対応すべき。



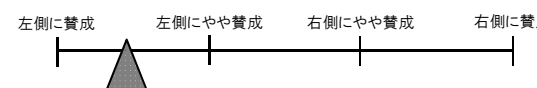
川崎市としての政策の一体性を強めていくべき。

街としての活気を保つためにも、今後ともゆるやかに人口増が続くことが望ましい。



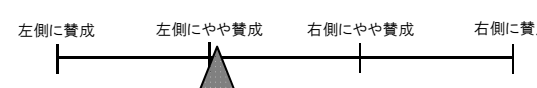
緑地等の保全を優先すべきであり、これ以上の人口増はできるだけ抑制すべき。

町内会や自治会など地域コミュニティの強化が必要である。



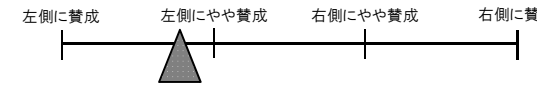
都市型の生活スタイルでは、地域コミュニティの必要性は感じられない。

川崎市議会も議員定数の削減などにより議会運営に必要なコストをさらに削減すべき。



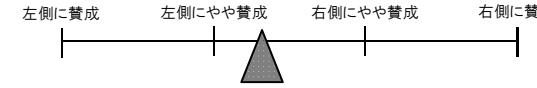
川崎市議会の政策立案や行政チェック機能を強化するために、市議会の態勢をさらに整備すべき。

川崎市議会主催の報告会やタウンミーティングも行うべき。



市議会報告は個々の議員や政党・会派で行う方が良い。

少子化対策のためにも、子育て支援策を重視すべき。



生涯にわたって安心して住み続けられるために高齢者福祉を重視すべき。

（裏面に続きます。）

●寄せられた意見（摘要）

※一つ一つの項目ごとにご意見を記載していただくなど、予想していた以上に多くの方々からたくさんのご意見を頂戴いたしました。紙面の都合でごく一部の掲載となってしまったことをお詫び申し上げます。

「区の自立を促進すべきだと思います。区民による区長選出！区民の声に耳を傾ける政治を！市と区の連携と区の自立を大局観に立って推進する！」

「国政での民主党復権は少なくとも10年は難しい。余りにもお粗末な人材不足の故。県、市、区レベルでの人格・知識・経験の積み重ねにより国政にSTEP UPする以外ない。支援者拡大の為、自らの研鑽の為にも、沢山のグループを作り、国家的視野、市民的視野で研究会、検討会などの活動をすべきと思われる」

「本当に大変な時代です。心して頑張ってくださいのなら応援します！」

「人口増は税政の面では良いが、JRも東急も市バスもそのキャパが賄えていない。」

「これを電子メールでも送れると良いです。PDF送付など、若い世代が使いやすいように。」

「横浜から3年前に川崎市に転居してきたのですが、横浜では『地区センター』というコミュニティ施設が数多くあり、カルチャー、スポーツ、図書などが自由に楽しめました。川崎市には同じような役割の施設が少ないのではないですか。図書館も非常に少なく不満です。子どもから高齢者まで気軽に通える公共の施設をぜひ作ってください。横浜の地区センターを数か所、ぜひ見学してきてください。」

「川崎市の人口が145万人となり『市』が巨大化してきた。今や川崎市の統一地方選挙は大変厳しさを増してきている。4年間の任期だと最後の1年～半年間は次の選挙への準備のため落ち着いて議員活動に取り組めないのではないのでしょうか。市民のため最良な議員の方に当選していただきたい。議員の皆様には、政策もさることながら、もっと『心』を磨いてほしい」

「公園の緑地化を推進できれば子育て世代の流入も増えるはず。医療費教育費の子どもへの優遇は必須」

「川崎市の子育て支援策がいまいち利用できていない。子どもの遊びの広場などいちいち申し込みをしないとちゃいけなかったり、先着〇〇名などと書かれていると、まあいいかとなってしまふ。また住んでいる所が中心地よりちょっと遠いとわざわざ子どもを連れて電車に乗っていくのがおっくうになってしまふ。小学校のわくわくプラザはとてもいい。よく利用します。」

「川崎市内を走るバス、東急、市バスのルートをもっと少し見直して欲しい。子どもの医療費の助成は小6までにしたい。子ども手当は所得制限なしにしてください。」

「政治はバランスであることに真剣になるべき。少子化で老人ばかりの社会に活気が出るはずがない。母親・子ども手当を重層的に実質予算を増大すべき。少子化が改善すれば高齢者は安心して死ねるのです。死んだあとが荒野では無念の死です。」

「若いニートや仕事のない方が大勢います。安い賃金で働く海外の人を入れることでは給料は上がりません。若者の夢も希望もない世の中では？」

「若い夫婦は子どもは3人位欲しいと思っているのになぜ出来ないかを調査すると、2人目からはお金がかかって無理と答えが出てます。どんどん社会に役立つ子どもを作り育てていける川崎市になってほしい。」

「政策は現実的に、しかし志は高く！」

「野菜作りが盛んな川崎を、安全な食の町、自給自足の町にしていけば素晴らしいですね。」

「都市部でも年々超高齢社会化が進んでいきます。高齢者・若者・子どもたちにも、助け合い、励ましあう、共に明るい豊かな未来をつくってもらいたいものです。政治にかかわる人は、現場の声を素直によく聞き、反映してもらいたいと思います。」

「最近、川崎市に転入してきました。高津区役所の窓口の職員の方が丁寧に対応してくださり、とても感謝しています。今まで住んでいた〇〇市よりもぜんぜん良いですね。」

「民主党にとっては厳しい状況が続いていますが、安易に調子の良い政党に移ったり無所属になったりはしないほしい。目先の利く政治家が選挙目当てでぞろぞろ野合するのにはうんざりする。選挙で当選したときには政党の看板を利用したのだから、政党を変わったり無所属になるのであれば、まずは議員も辞職すべき。こうした当たり前の常識がないから政治が劣化しているのではないか。」

「消費税を上げるのはやむをえないと思う。ただし、増えた税金を従来のような公共事業に使うのは勘弁してほしい。」

「梶が谷駅でチラシをいただきました。通勤時には急いでいるので、いつもあまりお話を聞くことができずすみません。雨や雪のときも演説されているので風邪には気をつけてください！」

「区の中で政策を決めることに賛成です。議会にしても、川崎まで行かないと傍聴できないのは現実的ではないと思います。せめて区役所で開催されれば、関心を持って聴きに行けます。」

毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。

雨天決行

月曜日：津田山駅 水曜日：溝口駅南口 金曜日：梶が谷駅 / 午前7時～8時半